

2019年春 ダイヤ改正について

2018年12月14日

北海道旅客鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
東海旅客鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
四国旅客鉄道株式会社
九州旅客鉄道株式会社
日本貨物鉄道株式会社

JRグループでは、2019年3月16日（土）にダイヤ改正を実施します。

主要都市間を結ぶ旅客列車および貨物列車を中心とした改正の主な内容は、以下のとおりです。

<主なダイヤ改正内容>

【旅客列車関係】

- 東海道・山陽新幹線「のぞみ」の所要時間を短縮します
- 北海道新幹線（青函トンネル内）の速度向上により所要時間を短縮します
- 上越新幹線にE7系を投入します
- 山陽・九州新幹線「みずほ」を増発します
- 中央線特急の利便性を向上します
- 北陸線の特急を増発します
- 東海道・山陽線に特急を新設します
- 7つの新駅を開業します

【貨物列車関係】

- 東京～神戸間のコンテナ列車の運転区間を福岡へ延長します
- 名古屋～北九州間に自動車部品輸送専用の輸送力を新設します

次ページ以降は、《 》内の各社からの発表のものです。

【旅客列車関係】

☆東海道・山陽新幹線

《JR東海・JR西日本》

東海道・山陽新幹線を直通する「のぞみ」の所要時間を短縮します

東海道・山陽新幹線を直通運転する一部の「のぞみ」（上下計30本）の所要時間を現行より3分短縮します。これにより、東京～博多間を「4時間57分」で結ぶ「のぞみ」を日中時間帯に毎時上下1本ずつ運転し、ご利用がさらに便利になります。

【所要時間を短縮する（下り）博多行「のぞみ」】

（ ）内は現行との比較

列車名	東京発	新大阪着	博多着	所要時間	
				東京～新大阪	東京～博多
のぞみ 19号	9:10	11:37	14:07	2時間27分 (△3分)	4時間57分 (△3分)

※その他、東京発毎時10分の「のぞみ」23号、27号、31号、35号、39号、43号、47号、53号も所要時間を3分短縮します。（合計9本）

【所要時間を短縮する（下り）岡山行「のぞみ」】

列車名	東京発	新大阪着	岡山着	所要時間	
				東京～新大阪	東京～岡山
のぞみ 131号	20:10	22:37	23:28	2時間27分 (△3分)	3時間18分 (△3分)

【所要時間を短縮する（上り）博多発「のぞみ」】

列車名	博多発	新大阪発	東京着	所要時間	
				博多～東京	新大阪～東京
のぞみ 4号	6:36	9:06	11:33	4時間57分 (△3分)	2時間27分 (△3分)

※その他、東京着毎時33分の「のぞみ」8号、14号、18号、22号、26号、30号、34号、38号、44号、50号、56号も所要時間を3分短縮します。（合計12本）

【所要時間を短縮する（上り）広島発「のぞみ」】

列車名	広島発	新大阪発	東京着	所要時間	
				広島～東京	新大阪～東京
のぞみ 108号	6:03	7:33	10:03	4時間00分 (△3分)	2時間30分 (△3分)
のぞみ 110号	6:22	7:53	10:23	4時間01分 (△3分)	2時間30分 (△3分)
のぞみ 114号	7:03	8:33	11:03	4時間00分 (△3分)	2時間30分 (△3分)
のぞみ 116号	7:24	8:53	11:23	3時間59分 (△3分)	2時間30分 (△3分)
のぞみ 120号	8:06	9:33	12:03	3時間57分 (△3分)	2時間30分 (△3分)
のぞみ 136号	16:06	17:33	20:03	3時間57分 (△3分)	2時間30分 (△3分)
のぞみ 138号	17:06	18:33	21:03	3時間57分 (△3分)	2時間30分 (△3分)

【所要時間を短縮する（上り）岡山発「のぞみ」】

列車名	岡山発	新大阪発	東京着	所要時間	
				岡山～東京	新大阪～東京
のぞみ 122号	8:59	9:53	12:23	3時間24分 (±0分)	2時間30分 (△3分)

☆東北・北海道新幹線

《JR北海道・JR東日本》

北海道新幹線は青函トンネル内の最高速度を 160km/h に向上し、「はやぶさ」「はやて」の所要時間を短縮します

北海道新幹線は、青函トンネル内の最高速度を 140km/h から 160km/h に向上し「はやぶさ」「はやて」の所要時間を現行より最大 4 分短縮します。これにより、東京～新函館北斗間を最速 3 時間 58 分で結び、ご利用がさらに便利になります。

【最速達列車】

() 内は現行との比較

下り列車	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻	所要時間
はやぶさ 5号	東 京	8:20	新函館北斗	12:18	3時間 58分 (△4分)
はやぶさ 11号		9:36		13:34	3時間 58分 (△4分)

上り列車	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻	所要時間
はやぶさ 38号	新函館北斗	17:25	東 京	21:23	3時間 58分 (△4分)

※その他の青函トンネル内を走行する「はやぶさ」「はやて」についても、新青森～新函館北斗間の所要時間を最大 4 分短縮します。

☆上越新幹線

《JR東日本》

上越新幹線に E 7 系を投入します

上越新幹線は、東京～新潟間で新たに E 7 系を投入し「とき」「たにがわ」として運転します。これにより、ご利用が快適になります。

【E 7 系で運転する列車】

下り列車	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻
とき 309号	東 京	8:52	新 潟	11:11
とき 315号		10:16		12:24
とき 327号		15:16		17:04
たにがわ 413号		19:12	越後湯沢	20:42
とき 347号		20:24	新 潟	22:36

上り列車	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻
たにがわ 402号	越後湯沢	7:08	東 京	8:40
とき 308号	新 潟	7:49		10:04
とき 320号		12:35		14:44
とき 336号		16:56		19:00
とき 342号		18:12		20:12

☆山陽・九州新幹線

《JR西日本・JR九州》

山陽・九州新幹線直通の「みずほ」を1往復増発します

新大阪と鹿児島中央を結ぶ「みずほ」を1往復増発します。これにより、関西と熊本・鹿児島間のご利用がさらに便利になります。

【増発する「みずほ」】

列車名	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻	途中停車駅
みずほ 607 号	新大阪	11:08	鹿児島中央	14:58	新神戸、姫路、岡山、広島、小倉、博多、久留米、熊本
みずほ 608 号	鹿児島中央	16:32	新大阪	20:24	川内、熊本、博多、小倉、広島、岡山、新神戸

☆中央線

《JR東日本》

中央線特急をE353系に統一し、利便性・快適性を向上します

首都圏と甲府・信州エリアを結ぶ特急「あずさ」「かいじ」をE353系に統一し、快適性が向上します。また、主要駅間の所要時間を現行より短縮し、首都圏～甲府・信州エリアのアクセスがさらに便利になります。

※「スーパーあずさ」の列車愛称名は取り止めます。

※一部の臨時列車はE257系で運転します。

【下り平均所要時間】

() 内は現行との比較

運転区間	新宿～甲府	新宿～松本
所要時間	1時間32分 (△3分)	2時間38分 (△6分)

《JR東日本》

富士急行線へ直通する特急「富士回遊」を新設します

新宿と河口湖（富士急行線）を直通する特急「富士回遊」を新たにE353系で運転します。これにより、首都圏～富士山エリアのアクセスがさらに便利になります。

【新設する「富士回遊」】

列車名	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻
富士回遊 1号	新 宿	8:30	河口湖	10:22
富士回遊 3号		9:30		11:22
富士回遊 16号	河口湖	15:05	新 宿	16:58
富士回遊 20号		17:38		19:27

※「富士回遊」の新宿～大月間は、特急「かいじ」と併結して運転します。

※「かいじ16号・富士回遊16号」「かいじ20号・富士回遊20号」は、4月中旬頃まで大月～新宿間で時刻を変更して運転する予定です。

※一部の臨時列車はE257系で運転します。

《JR 東日本》

通勤に便利な特急「はちおうじ」「おうめ」を新設します

東京と八王子・青梅を結ぶ特急「はちおうじ」「おうめ」を新たに運転します。「はちおうじ」は、朝時間帯に上り列車2本、夜時間帯に下り列車6本、「おうめ」は、朝時間帯に1本、夜時間帯1本をE353系で運転し、通勤がさらに快適になります。

※これにあわせて「中央ライナー」「青梅ライナー」は運転を取り止めます。

《JR 東日本》

新たな着席サービスを導入します

特急「あずさ」「かいじ」「富士回遊」「はちおうじ」「おうめ」の普通車で事前に座席指定が可能となるほか、座席の指定を受けなくても空席をご利用いただける新たな着席サービスを導入し、着席ニーズにお応えします。

☆北陸線

《JR 西日本》

特急「サンダーバード」を増発します

大阪と金沢を結ぶ特急「サンダーバード」をご利用の多い時間帯に1往復増発します。これにより、関西から北陸への観光・ビジネスがさらに便利になります。

【増発する「サンダーバード」】

列車名	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻	途中停車駅
サンダーバード 43 号	大 阪	19:12	金 沢	21:53	新大阪、京都、福井
サンダーバード 46 号	金 沢	19:05	大 阪	21:49	福井、京都、高槻、新大阪

☆東海道・山陽線

《JR 西日本》

特急「らくらくはりま」を新設します

姫路と大阪を結ぶ特急「らくらくはりま」を平日の朝夕通勤時間帯に新設し、通勤着席サービスの充実を図ります。

	発 駅	時 刻	着 駅	時 刻	途中停車駅
上り	姫 路	6:21	大 阪	7:21	加古川、西明石、明石、神戸、三ノ宮
下り	大 阪	19:04	姫 路	20:08	三ノ宮、神戸、明石、西明石、加古川

《JR 西日本》

新快速に「Aシート」(有料座席サービス)を導入します

一部の新快速※に有料座席サービス「Aシート」を導入し、着席サービスの充実を図るとともに、新快速に更なる快適性を提供します。

※網干・姫路～野洲間で毎日上下4本運転します。

☆おおさか東線

《JR 西日本》

おおさか東線(新大阪～久宝寺)が全線開業します

おおさか東線は新大阪～放出間の整備完了に伴い、2008年3月に部分開業していた放出～久宝寺間と合わせ、新大阪～久宝寺間(20.3km)の全線が開業します。これに伴い、南吹田(みなみすいた)、JR淡路(じえいあーるあわじ)、城北公園通(しろきたこうえんどおり)、JR野江(じえいあーるのえ)の4駅が開業します。

☆牟岐線

《JR 四国》

発車時刻を統一し、よりわかりやすく・より便利にします

牟岐線は徳島～阿南間の9時～19時台、阿南～海部間の10時～15時台に運転する普通列車の発車時刻を統一し、わかりやすく利用しやすいダイヤに見直します。また、徳島～阿南間を運転する普通列車を8本増発します。

☆香椎線

《JR 九州》

香椎線に蓄電池電車「DENCHA」を投入します

香椎線(西戸崎～宇美間)は運転するすべての車両を蓄電池電車「DENCHA」にします。

☆新駅開業関係

《JR 東日本・JR 西日本・JR 九州》

7つの新駅を開業します

新駅の名称	線名	区間(所在地)
<small>じえい</small> J ヴィレッジ	常磐線	広野～木戸間 (福島県双葉郡檜葉町)
<small>みなみすいた</small> 南吹田	おおさか東線	再掲 (大阪府吹田市)
<small>じえいあーるあわじ</small> JR 淡路		再掲 (大阪府大阪市)
<small>しろきたこうえんどおり</small> 城北 公園通		
<small>じえいあーるのえ</small> JR 野江		
<small>うめこうじきょうとし</small> 梅小路 京都 西	山陰線	京都～丹波口間 (京都府京都市)
<small>いとしまこうこうまえ</small> 糸島 高校前	筑肥線	波多江～筑前前原間 (福岡県糸島市)

※「J ヴィレッジ駅」はJ ヴィレッジのグランドオープンに合わせて4月頃に臨時駅として開業します。

【貨物列車関係】

《JR 貨物》

東京～神戸間のコンテナ列車の運転区間を福岡へ延長します

現在、東京(夕)～神戸(夕)間で運転しているコンテナ列車の運転区間を福岡(夕)へ延長し、東京～関西間に加えてご利用が旺盛な東京・関西～九州間の多様なニーズにお応えします。

列車番号	運転区間		途中停車駅 着／発時刻	記 事
	発 駅	着 駅		
1067 ～5067	東京(夕) 23:32	福岡(夕) 21:51	吹田(夕) 6:26／7:19 神戸(夕) 8:10／9:10	26両編成・輸送力130個 【吹田(夕)～福岡(夕)間は 20両編成・輸送力100個】
5066～ 5068～1066	福岡(夕) 8:21	東京(夕) 6:07	神戸(夕) 19:10／20:07 吹田(夕) 20:46／22:41	

《JR 貨物》

名古屋～北九州間に自動車部品輸送専用の輸送力を新設します

大手自動車メーカー様のご要望にお応えし、名古屋～北九州間の自動車部品とその返送積付用品*の往復輸送を行う専用の直行輸送力を新設します。

列車番号	運転区間		輸送区間		記 事
	発 駅	着 駅	発 駅	着 駅	
8055 ～8057	名古屋(夕) 16:22	熊 本 10:34	稲 沢* 17:22	北九州(夕) 5:00	直行輸送力 往復50個 新設
8056	熊 本 17:40	名古屋(夕) 11:57	北九州(夕) 22:49	稲 沢* 10:50	

※稲沢駅より笠寺駅を経由し、名古屋臨海鉄道線(名古屋南貨物駅)まで輸送します。

*積付用品…コンテナ内部の荷崩れや偏積を防止するための養生材(パレット、エアバック等)

《JR 貨物》

ご要望の強い地域間の輸送力を増強します

鉄道輸送が得意とする中長距離の区間で、お客様からのご要望が強い地域間のコンテナ輸送力を増強します。

列車番号	運転区間		輸送力増強区間		記 事
	発 駅	着 駅	発 駅	着 駅	
63	東京(夕)	福岡(夕)	東京(夕)	広島(夕)	10個増強
3096～2077	新潟(夕)	岡山(夕)	金沢(夕)	岡山(夕)	10個増強
5082	広島(夕)	越谷(夕)	広島(夕)	相模貨物	15個増強

※各項目の記事欄の輸送力(個数)は、全て12ft換算の個数を示します。

※山陽線では「平成30年7月豪雨」の影響に伴い完全復旧に向けた作業を実施しているため、同線を走行する列車の時刻を変更して運転する場合があります。

※本文中および発駅・着駅欄の(夕)は貨物ターミナル駅の略です。